

経営比較分析表（令和4年度決算）

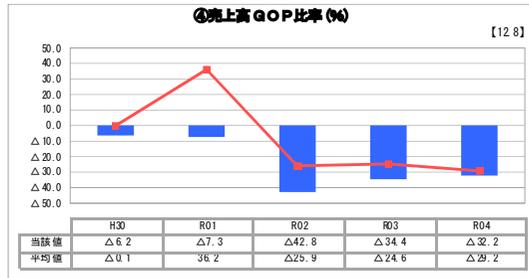
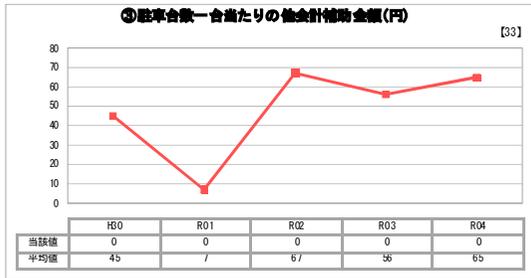
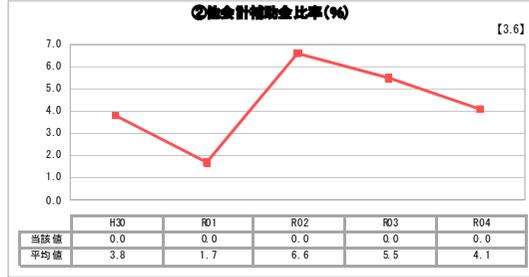
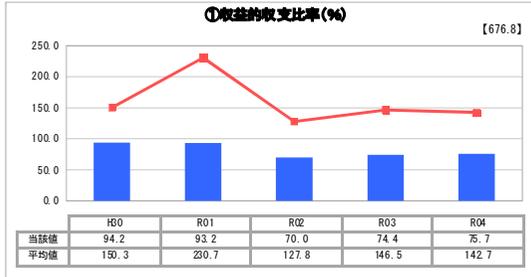
山形県山形市 山形市営駐車場

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	49	

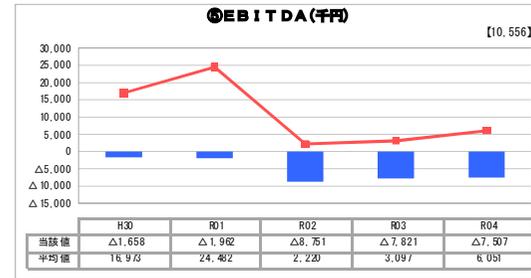
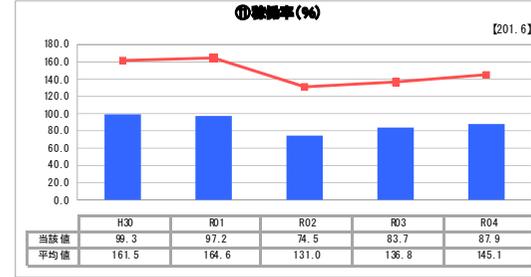
立地	周辺駐車場の供給実績調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	4,968
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理費制度の導入
141	250	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

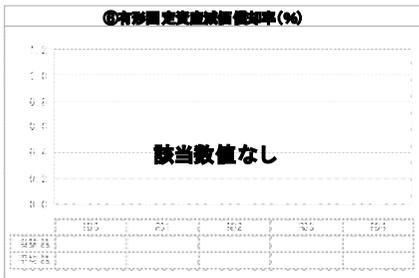
1. 収益等の状況



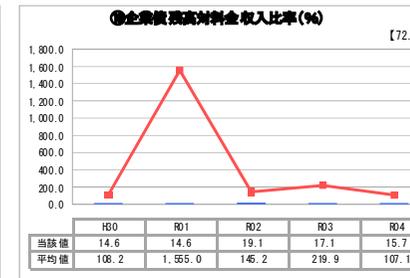
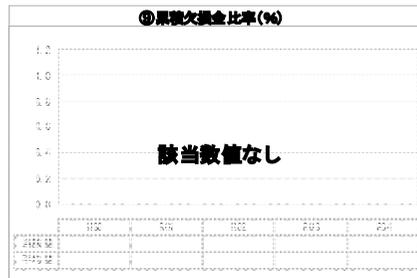
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
0
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析要

1. 収益等の状況について
- ①収益的収支比率は、近年類似施設平均値を大きく下回る年が続いている。
 - ④売上高GOP比率において、近年はマイナス比率となり改善に向けた取組みが必要である。
 - ⑤EBITDAにおいて、収益性が低下しているため、改善に向けた取組みが必要である。

2. 資産等の状況について
- 今後、施設の老朽化対策等に当たっては駐車場事業債の活用を検討しながら進めていく予定である。

3. 利用の状況について
- ①稼働率は、平成30年度から100%を下回っている状況が続いており、かつ類似施設平均値も下回っている状況である。令和4年度決算では前年度より若干改善したが、引き続き改善に向けた取組みが必要である。

- 全体総括
- 平日は9割が定期利用者であり一般車の利用が増えないこと、土日は隣接する市民会館で催し物がある場合に利用者が増加するがコロナ禍により催し自体が少なかったことから①収益的収支比率、④売上高GOP比率、⑤EBITDA及び①稼働率いずれも低い水準が続いている。今後は、利用拡大に向けた取組みを検討し、利用台数及び利用料金の確保に努めていく必要がある。

経営比較分析表（令和4年度決算）

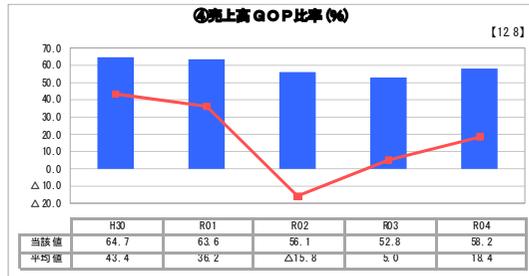
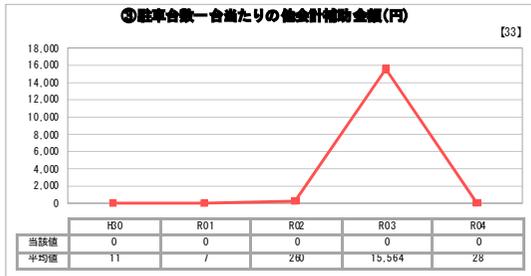
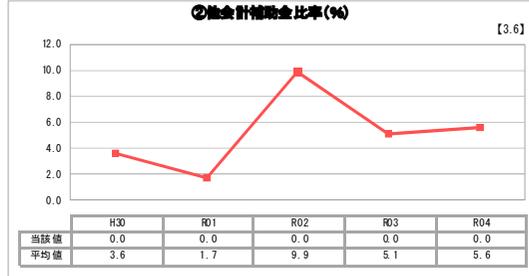
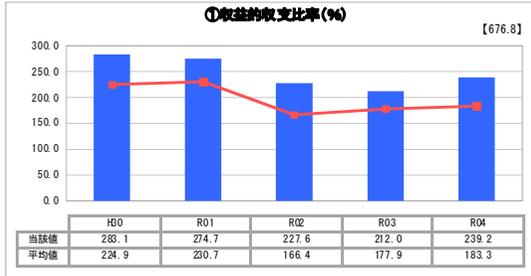
山形県山形市 山形市中央駐車場

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	38	

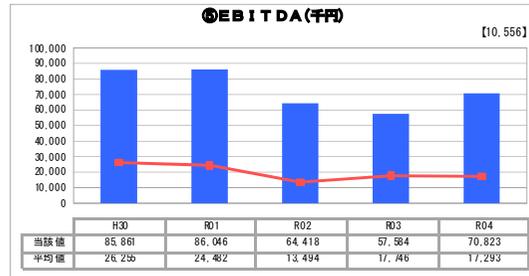
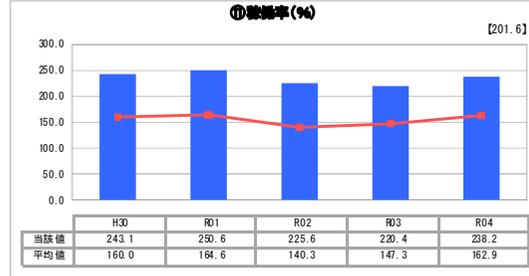
立地	周辺駐車場の供給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	9,593
収容台数(台)	一時留置台数の基本料金(円)	指定管理費制度の導入
421	250	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設数値(当該値) — 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

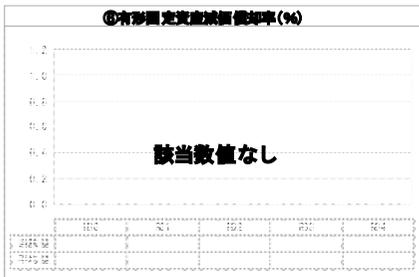
1. 収益等の状況



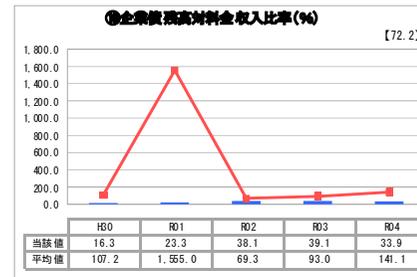
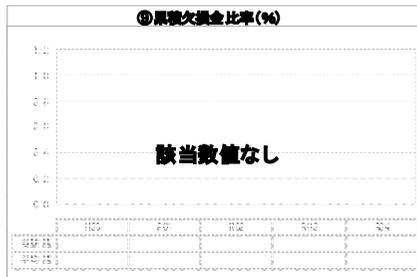
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	0
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析要

1. 収益等の状況について
①収益的収支比率は、例年100%を上回っており、また類似施設平均値をも上回っていることなど、良好な水準で推移している。

④売上高GOP比率において、コロナ前ほどではないが高い数値を維持しており、類似施設平均値との比較でも大きく上回っている。

⑤EBITDAにおいて、コロナの影響で2年連続減少傾向であったが今回上昇に転じた。類似施設平均値は大きく上回っている。

2. 資産等の状況について

⑩企業債残高対料金収入比率は、類似施設平均値に比べ低い水準で推移し、平成27年度に企業債残高が0になった。平成29年度以降に、駐車場事業債を活用した施設の老朽化対策工事を行っているため、当該値が増加した。今後も施設の老朽化対策にあたっては、駐車場事業債を活用しながら進めていく予定である。

3. 利用の状況について

①稼働率は、類似施設平均値並びに全国平均値と比較しても、高い水準で推移している。周辺に、市役所や中心市街地等があり利用状況が高い原因となっている。

全体総括

収益等の状況や利用状況は全国平均値及び類似施設平均値と比較しても、良好な経営状況を維持している。新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年度以降低下していた各数値も前年比で上昇となった。今後も、継続して良好な水準を維持していくとともに、より一層の経営効率化を図りながら施設の老朽化対策に取り組んでいくことが必要である。

経営比較分析表（令和4年度決算）

山形県山形市 山形市大手町駐車場

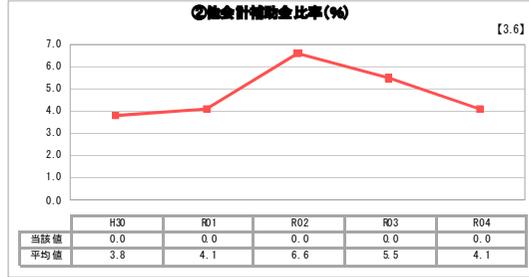
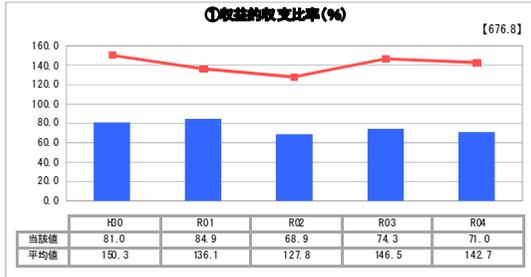
業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	36	

立地	周辺駐車場の供給実績調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	5,866
収容台数(台)	一時園当たりの基本料金(円)	指定管理費制度の導入
182	250	代行制

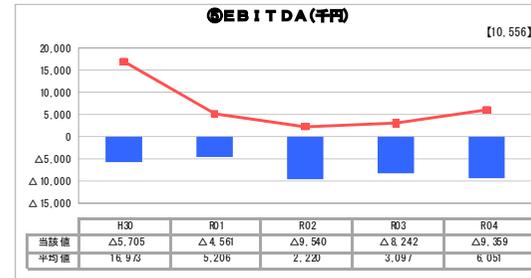
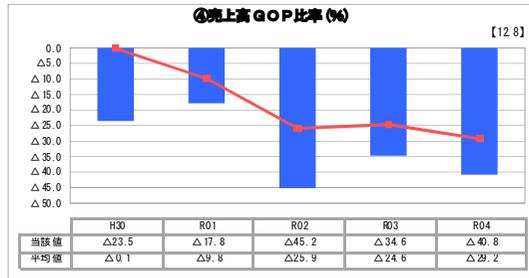
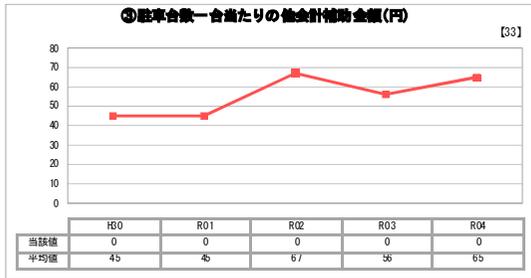
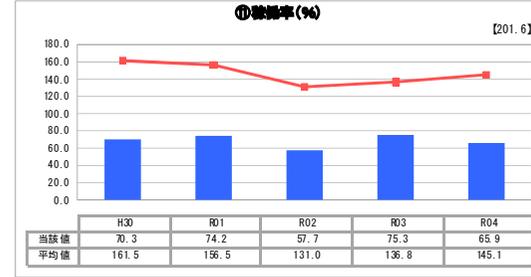
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

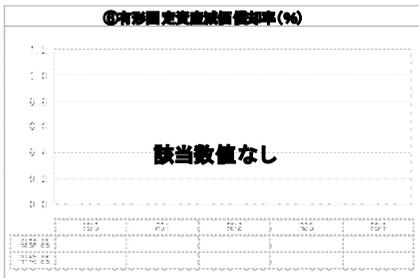
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

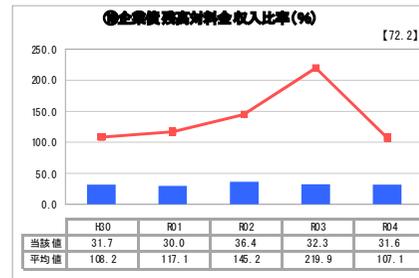
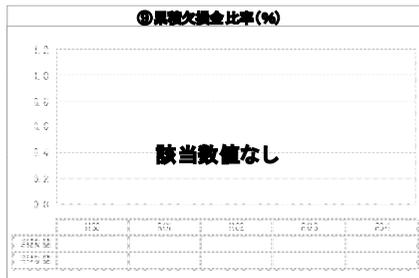


⑧敷地の地価(千円)

0

⑨設備投資見込額(千円)

0



分析要

1. 収益等の状況について

①収益的収支比率は、ここ数年は類似施設平均値を下回っており、平成28年度以降、100%を下回っている。

②売上高GOP比率は、収益の減収により前年よりマイナス比率が大きくなった。

③EBITDAは、類似施設平均値が上昇に転じている中、収益の減収によりマイナス比率が大きくなった。

2. 資産等の状況について

今後、施設の老朽化対策工事にあたっては駐車場事業債の活用を検討しながら進めていく予定である。

3. 利用の状況について

①近隣で行われていた新型コロナウイルスPCR検査場がなくなったことで前年比マイナスとなった。

依然として稼働率100%を下回っており、全国平均及び類似施設平均値と比較しても、非常に低い水準にある。近隣に公園や美術館があるものの、イベントや催し物の開催の有無で稼働率が大きく影響する環境であり、利用の拡大について、対策を検討していく必要がある。

全体総括

当駐車場においては、増収を図っていくことが難しい環境下にあるが、利用拡大に向けた取組みを強化し、経費節減の徹底を図りながら、良好な施設の管理運営に努めていく必要がある。

経営比較分析表（令和4年度決算）

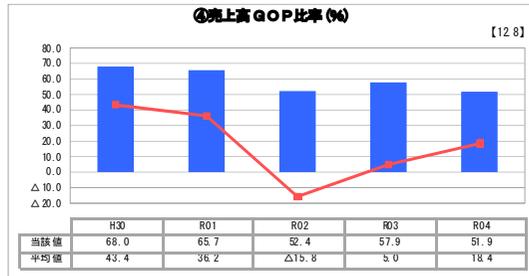
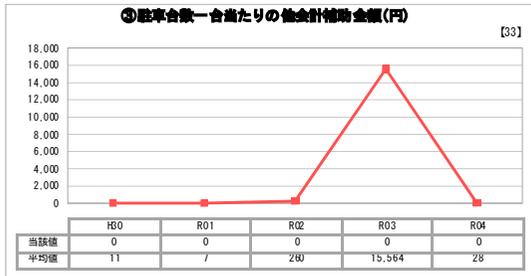
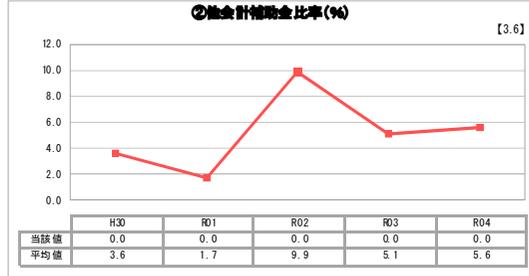
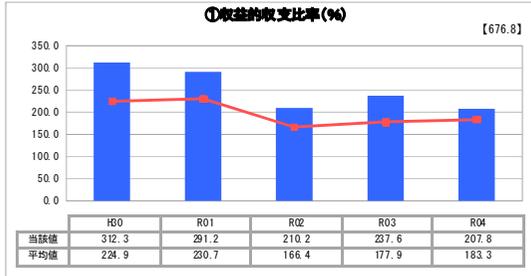
山形県山形市 山形市済生館前駐車場

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	28	

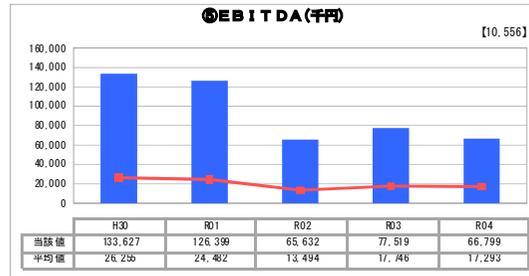
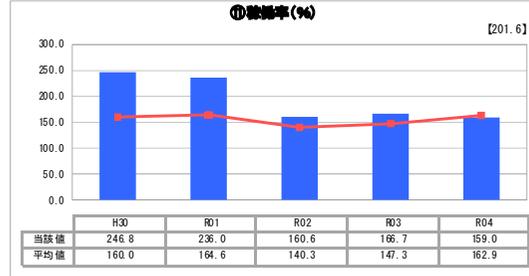
立地	周辺駐車場の供給実績調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	13,300
収容台数(台)	一時留置台数の基本料金(円)	指定管理者制度の導入
444	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

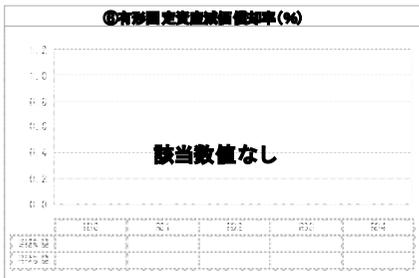
1. 収益等の状況



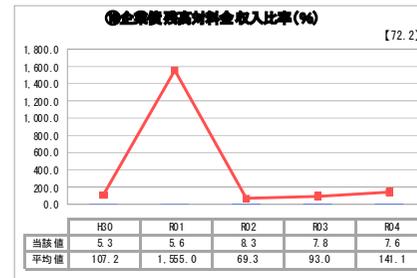
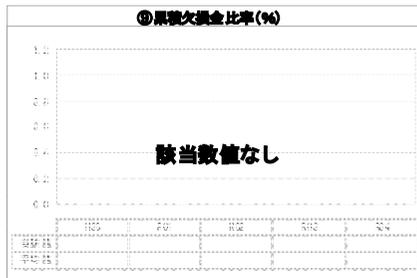
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	0
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析

1. 収益等の状況について

①収益的収支比率は、隣接する市立病院へ来院する人がコロナ患者がピークであった前年に比べ少なくなったことと、近隣商店街からの回数券購入の減少もあり、前年度比で減少した。

④売上高GOP比率は、全国平均値及び類似施設平均値を上回っている。

⑤EBITDAは、全国平均値及び類似施設平均値を上回っている。

2. 資産等の状況について

⑩企業債残高対料金収入比率は、類似施設平均値に比べ低い水準で推移し、平成28年度に企業債残高が0になった。平成30年度以降に、駐車場事業債を活用した施設の老朽化対策工事を行っているため、当該値が増加した。今後隣接市立病院の建て替え計画があるためそれに合わせた建て替えを予定している。

3. 利用の状況について

①稼働率は前年比微減で、類似施設平均値と比較しても同等の水準であった。

全体総括

収益等の状況や利用状況及び類似施設と比較しても、良好な経営状況を維持している。今後は、継続して良好な水準を維持していくとともに、より一層の経営効率化を図りながら施設の老朽化対策に取り組んでいく必要がある。

経営比較分析表（令和4年度決算）

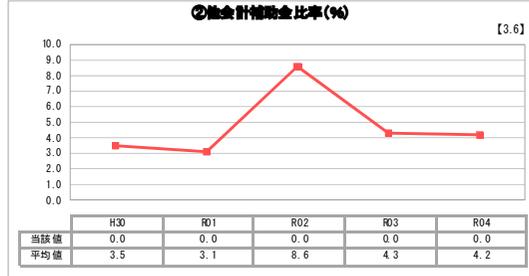
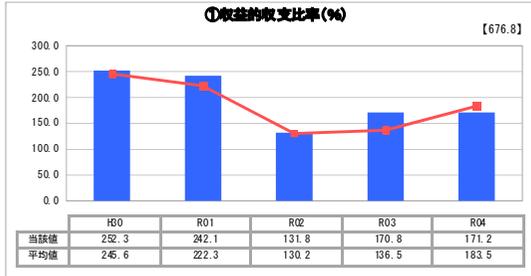
山形県山形市 山形市山形駅東口交通センター駐車場

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	28	

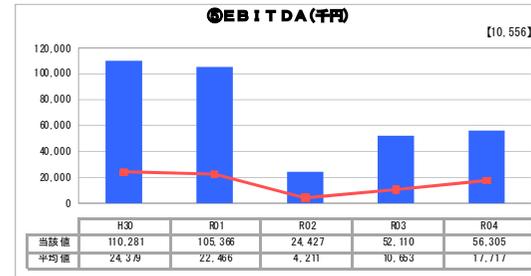
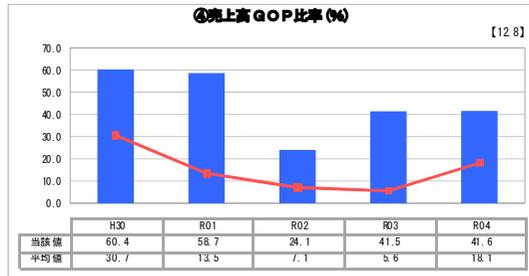
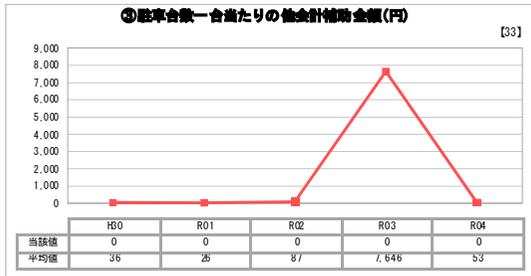
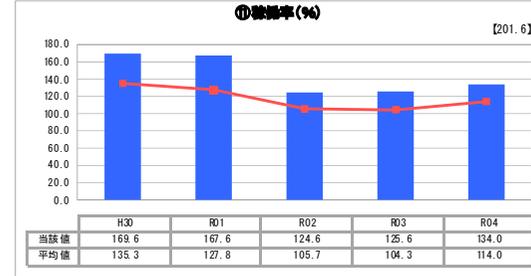
立地	周辺駐車場の供給実績調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	10,730
収容台数(台)	一時留置台数の基本料金(円)	指定管理者制度の導入
500	200	代行制

グラブ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

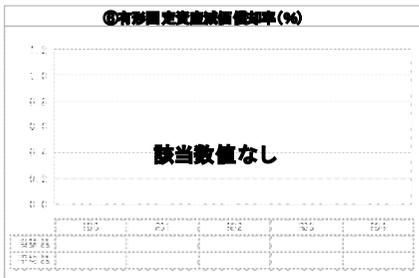
1. 収益等の状況



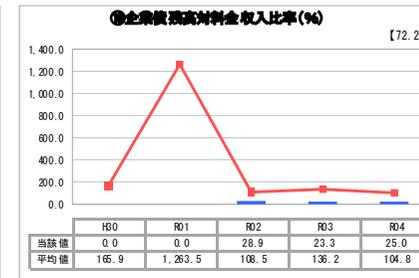
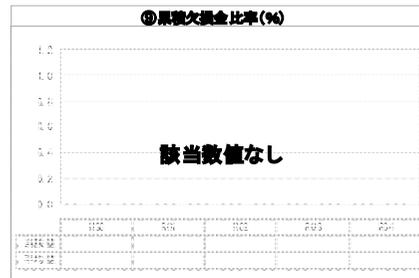
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	0
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析要

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率は、例年100%を上回っていることから、良好な水準で推移している。まだコロナへの不安が残っていることから令和3年度同等の数値となっている。
 ④売上高GOP比率も前年同等となり、全国平均値及び類似施設平均値を上回っている。
 ⑤EBITDAは前年比微増となり、全国平均値及び類似施設平均値を上回っている。

2. 資産等の状況について
 ⑩企業債残高対料金収入比率は、類似施設平均値に比べ低い水準で推移している。今後も、施設の老朽化対策工事にあたっては駐車場事業債の活用を検討しながら進めていく予定である。

3. 利用の状況について
 ①稼働率は、類似施設平均値を上回っており、駅を利用する人が徐々に回復していることから前年比も微増となった。

全体総括

駅に直結する唯一の市営駐車場であることから収益等の状況や利用状況は類似施設平均値を上回る水準にあり、良好な経営状況を維持している。今後は、継続して良好な水準を維持していくとともに、より一層の経営効率化を図りながら施設の老朽化対策に取り組んでいく必要がある。

経営比較分析表（令和4年度決算）

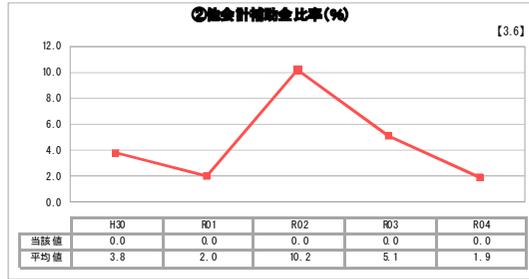
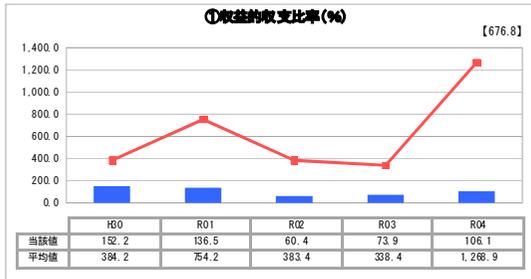
山形県山形市 山形市山形駅西口駅前広場駐車場

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	22	

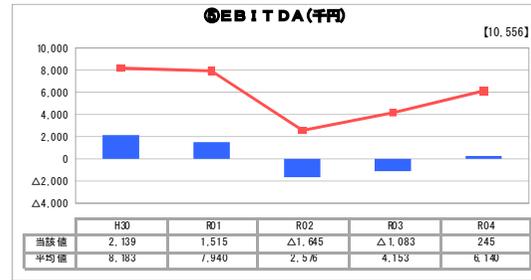
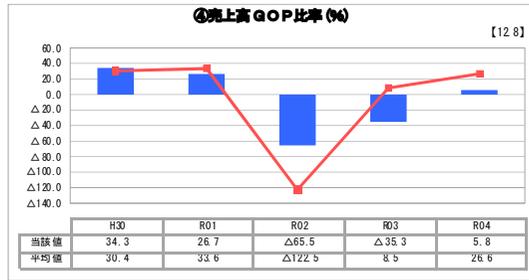
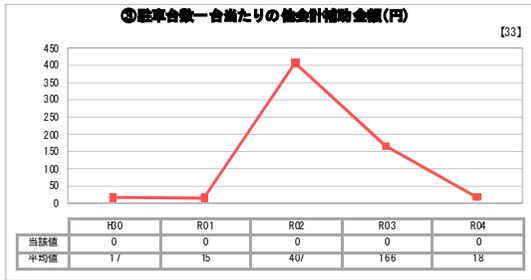
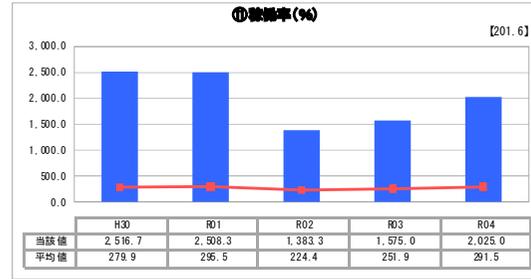
立地	周辺駐車場の供給実績調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	386
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
12	400	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値) — 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



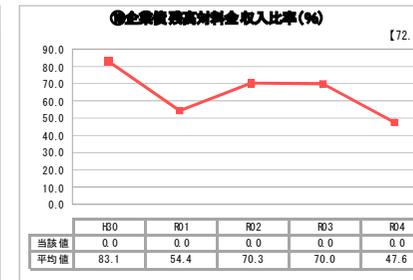
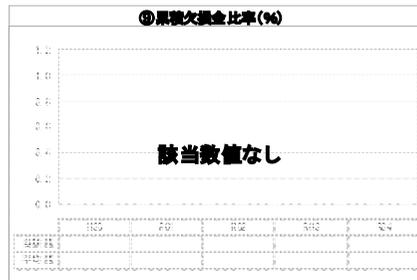
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑧敷地の地価(千円)	0
⑨設備投資見込額(千円)	0



分析要

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率は、類似施設平均値を下回って推移しているもののコロナ禍以降初めて100%を上回った。駅を利用する人が回復傾向であるものと考えられる。
 ④売上高GOP比率についても、コロナ禍以降初めてプラスに転じた。
 ⑤EBITDAについて、全国平均値及び類似施設平均値と比較して低い水準で推移しているが、コロナ禍以降初めてプラスに転じた。

2. 資産等の状況について
 今後、施設の老朽化対策工事にあたっては、駐車場事業債の活用を検討しながら進めていく予定である。

3. 利用の状況について
 ①稼働率は、前年比約3割増加した。全国平均値及び類似施設平均値と比較しても非常に高い水準で推移している。

全体総括
 当駐車場は、山形駅西口に隣接し、最初の30分までは無料という料金設定でこの30分以内での利用がほとんどであるため稼働率は高い状況にあるが収益等の状況は例年同水準で維持している。今後も、継続して良好な水準を維持していくとともに、より一層の経営効率化に取り組んでいく必要がある。